

岩手県病院薬剤師会雑誌 (通巻第121号)

病薬いわて

2013 Vol.37, NO.2

岩手県病院薬剤師会

特集

音楽とスポーツは人のこころを豊かにする
「広げよう感動。伝えよう感謝」2016年「希望郷いわて国体」にむけて
(-jjj-) スポーツファーマシストの活動



アンチ・ドーピング教育・啓発活動 ～楽しみながら職能拡大～

中田薬局
中田 義仁

スポーツファーマシスト（SP）の定義

公認SPは、最新のドーピング防止規則に関する正確な情報・知識を持ち、競技者を含めたスポーツ愛好家などに対し、薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行い、スポーツにおけるドーピングを防止することを主な活動とします。

薬剤師の資格を有し、所定の課程を修めた方が、（公財）日本アンチ・ドーピング機構より認定される資格制度です。開始日は、2009年1月23日です。

～2011年度－2012年度における釜石地区でのアンチ・ドーピング教室の報告～

釜石地区でアンチ・ドーピング教室開催までの準備

釜石高校

学校薬剤師として、薬物乱用防止講座や環境衛生検査等のため年間を通じて学校には、たびたび訪問しています。そのたびに養護教員を通じて生徒を対象とした、アンチ・ドーピング教室開催の必要性を訴えてきました。その結果、教職員の理解を得ることができ、保健指導の先生を交えての教室開催が決定しました。

釜石シーウェイブスRFC（以下釜石SW）

釜石SWは、国体に選手を派遣していることもあり、選手にとってドーピング検査は現実的なことであり、ジェネラルマネージャーやトレーナーの理解もあり、また私が釜石SWに関わりが深いこともあって、アンチ・ドーピング教室開催に向けて比較的スムーズに協議を進めることができました。

2011年度の活動内容

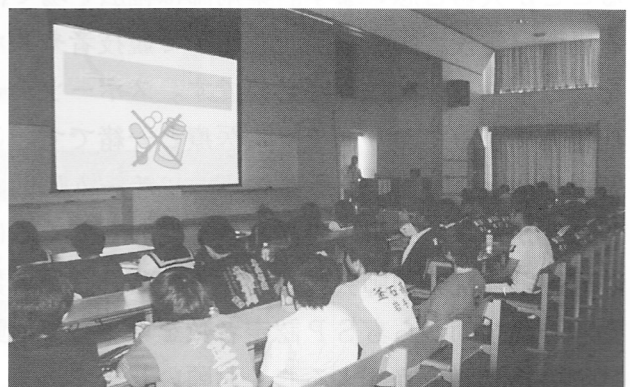
東日本大震災の影響で、計画した通りには進みませんでしたが、以下の内容でアンチ・ドーピング教室を開催することができました。

釜石高校

日時：2011年7月29日
場所：釜石高校保健室
受講者：インターハイ出場選手

釜石SW

日時：2011年7月16日（夏合宿中）
場所：八幡平中山荘
受講者：釜石SW選手、スタッフ



2012年度の活動内容

2012年度は「アンチ・ドーピング教室」を発展的に継続させることを目標に進めました。
釜石高校

日 時：2012年7月24日（夏休み期間中）

場 所：釜石高校しゃくなげ教室

受講者：運動部に所属する1・2年生、医療関係に興味を持っている生徒

釜石高校での開催は、授業のカリキュラムに影響しないように夏休み中として、スポーツ栄養の重要性や学校での朝食抜きの課題を考慮して、釜石市健康推進課の協力を得て、管理栄養士を派遣して頂き、スポーツ栄養との組み合わせによりアンチ・ドーピング教室を開催しました。受講した生徒の表情を見ていると、普段熱心に取り組んでいる競技の向上に影響することもあり、真剣そのもので、講義しているこちらにも、その思いが伝わってきました。さらに、講義後のアンケート結果からも理解度の高さを感じることができました。

釜石SWと国体出場選手（ラグビー青年の部）

日 時：①2012年8月25日 ②2012年9月16日

場 所：①釜石SWクラブハウス ②北上和賀川グリーンパーク

受講者：①釜石SW選手 ②国体出場選手（ラグビー青年）

2012年度ドーピング防止パネル決定報告より

2012年4月15日、ハンドボール女子選手が治療目的で「クロミッド」を服用して、禁止物質クロミフェンが検出され、制裁措置が施されました。このことは、「処方医師にドーピング検査があり得ることを伝えてなかったこと」と「選手自らが禁止物質が含まれているか否かを確認していなかったこと」が原因で、医療側で注意をしていれば防げた可能性もあります。

おわりに

うっかりドーピングでも選手には制裁措置が課せられ知らなかったでは許されません。それを防ぐためにも、競技者、処方医師、薬剤師、トレーナーなど関係者がドーピングに対して正しい知識を身に付け、多くのバリエーションを作っておくことが必要です。前述の事例からもわかるように、薬剤師は競技者だけでなく競技者を支える方々にも情報を提供することが大切だと思います。薬剤師は幅広い場で活動していますので、それぞれが得意とする場所（学校、医療機関、薬局）で競技者やスポーツ関係者からドーピングの相談や質問を受けられる体制作りが必要です。スポーツチームは、現在様々な専門家が選手を支える仕組みになっており、チーム医療と一緒にいます。これからは薬剤師もスポーツチームには必要な存在となるでしょう。スポーツチームに関わることで、今まで以上にスポーツを楽しむことができ、仕事への満足度も変わってくるはずです。

岩手県病院薬剤師会会員の中で、SP認定者数は8名（岩手県全体で47名）です。病院勤務の薬剤師からもSP認定者数を増やして活動の場を広げて、岩手のスポーツを盛り上げていきたいと思います。よろしくお願ひします。